

令和3年度 学校評価アンケートの結果について

仙台市立遠見塚小学校

保護者の皆様の深いご理解と温かいご支援によりまして、充実した教育活動ができましたことに深く感謝申し上げます。いただきましたご意見につきましては、教職員一同真摯に受け止め、新年度の学校運営や児童の指導に生かしてまいります。

A:十分達成されている B:概ね達成されている C:やや不十分 D:不十分 E:わからない・無回答

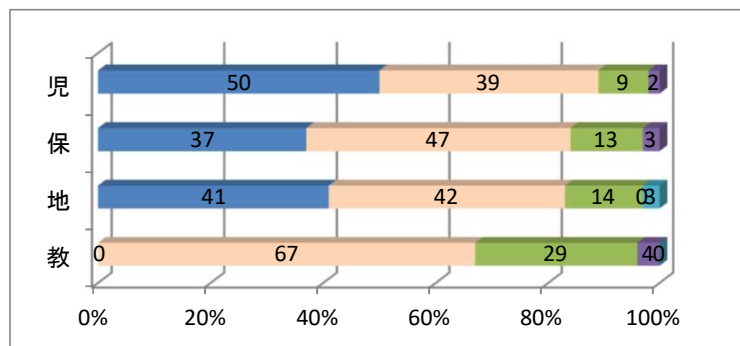
【児童417名, 保護者320名, 地域36名, 教職員21名回答】

1 協働型学校評価の重点目標「関わり合いを大切にする子どもを育てる～コミュニケーション力の育成」について

① おはよう, さようなら, ありがとう, ごめんなさいなどのあいさつを自分からしている。

	A	B	C	D	E
児	50	39	9	2	
保	37	47	13	3	
地	41	42	14	0	3
教	0	67	29	4	0

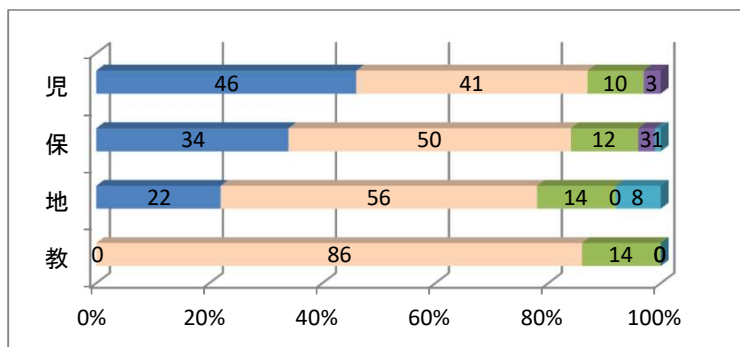
昨年比A+B
(%)
-2
-4
8
5



② 相手の様子や気持ちを考えながら, 話したり聞いたりしている。

	A	B	C	D	E
児	46	41	10	3	
保	34	50	12	3	1
地	22	56	14	0	8
教	0	86	14	0	0

昨年比A+B
(%)
0
0
8
21



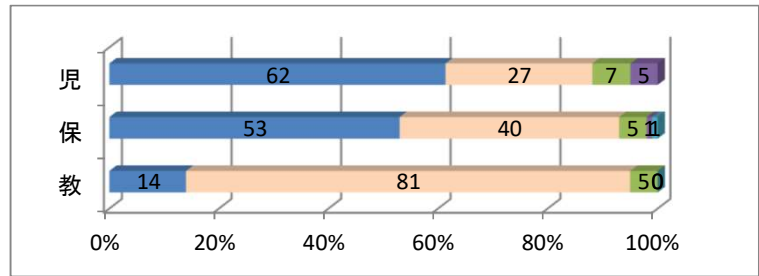
①, ②ともに児童のおよそ9割が, 保護者の8割5分が達成できた(A+B)と回答しています。これは前年度とあまり大きく変わっていませんが, 地域からの回答は前年比+8%となりました。ただし, スクールサポートスタッフや遠見隊の方々など日頃から顔を合わせる大人に対して, 進んであいさつのできる児童も多い反面, あいさつをしているつもりでも声が届いていない児童やあいさつをしない児童もいるようです。あいさつができて, また, 良いコミュニケーションを取っている児童の姿を教師がしっかりと評価し, その良さを広げていくことを続けたいと思います。また, 地域や保護者の皆様からの積極的なあいさつの声がけについて, 今後もお願いいたします。

2 学校生活や家庭生活について

【やさしい子】

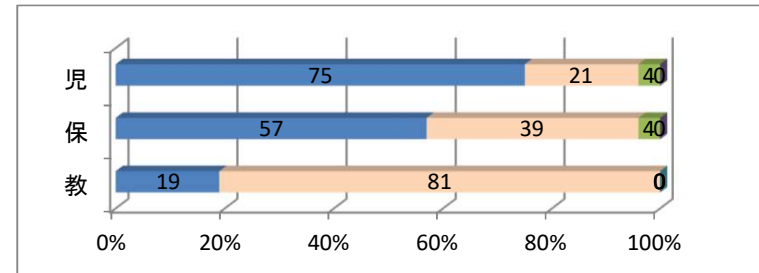
① 楽しく学校生活を送っている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	62	27	7	5		2
保	53	40	5	1	1	-2
教	14	81	5	0	0	0



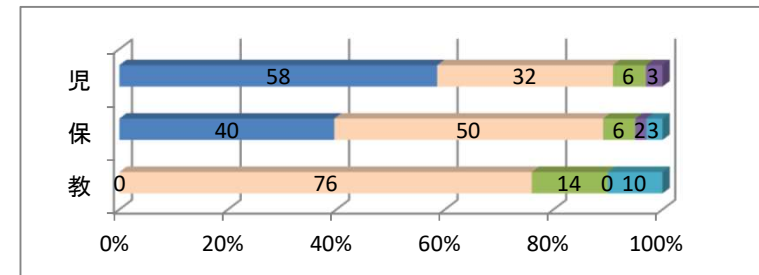
② 友達と仲良くしている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	75	21	4	0		1
保	57	39	4	0		-1
教	19	81	0	0	0	5



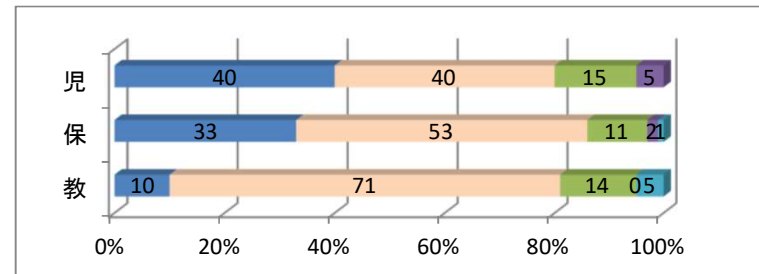
③ 友達の良いところを理解し、認めている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	58	32	6	3		3
保	40	50	6	2	3	-1
教	0	76	14	0	10	-19



④ 友達や家族の役に立つことをしている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	40	40	15	5		-7
保	33	53	11	2	1	-3
教	10	71	14	0	5	1

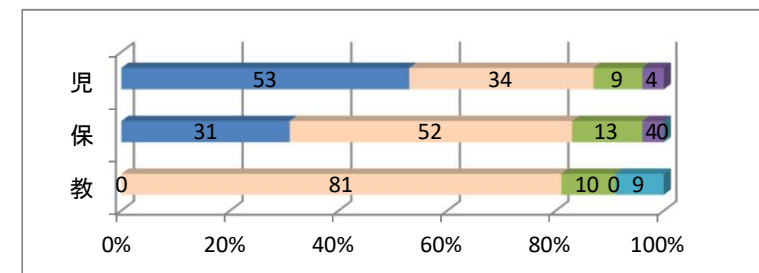


児童の回答では、①～③の項目でわずかに昨年度を上回っています。また、それらの項目ではおよそ9割が達成できたと回答する高い水準となっており、各学級のより良い人間関係づくりへの指導の成果が表れたのではないかと考えています。ただし、④は児童、保護者とも前年度を下回っています。「自分は誰かの役に立っている」と実感できるようにするためにも、当番活動や係活動などでそれぞれが役割を担い、その意味付けを児童に返したり、児童相互が評価し合ったりする活動を取り入れていきます。

【進んで学ぶ子】

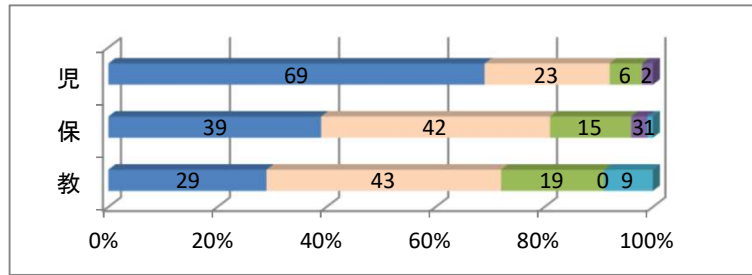
⑤ 学習内容を理解している。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	53	34	9	4		-2
保	31	52	13	4	0	0
教	0	81	10	0	9	6



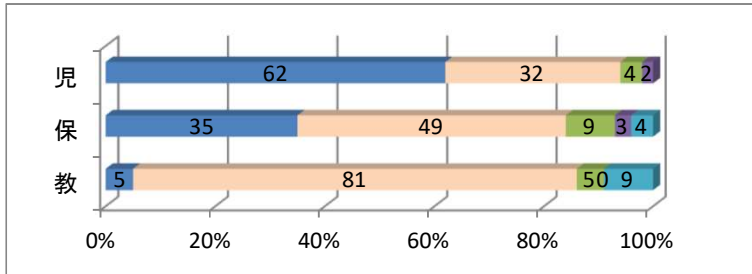
⑥ 勉強ができるようになると頑張っている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	69	23	6	2		1
保	39	42	15	3	1	-2
教	29	43	19	0	9	-13



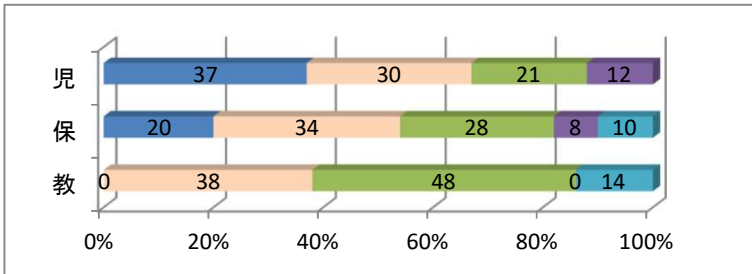
⑦ 授業中、先生や友達の話の聞いている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	62	32	4	2		3
保	35	49	9	3	4	-1
教	5	81	5	0	9	13



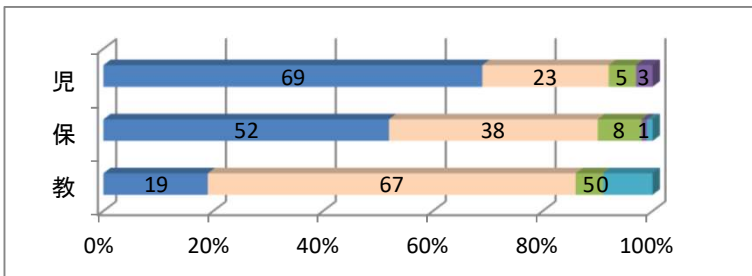
⑧ 授業中、考えを発表しようと手を挙げている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	37	30	21	12		3
保	20	34	28	8	10	-5
教	0	38	48	0	14	-2



⑨ ご家庭で、宿題や家庭学習をしている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	69	23	5	3		2
保	52	38	8	1	1	2
教	19	67	5	0	9	11

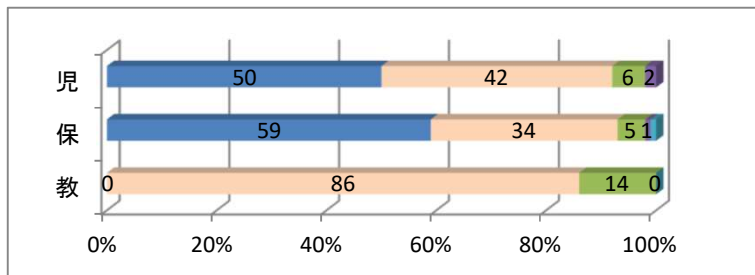


学習については、前年度より、やや+の項目が多く見られました。また、児童回答のA評価が前年度に比べ+3~+7と伸びを見せ、“确实”に理解をする、“しっかり”と話を聞く児童が増加したとも言えます。⑧については児童のおよそ1/3がC、Dと自己評価をしています。今後は自分の思いが表現できる学級づくり、自分の思いを伝えたい授業を目指し、工夫をしていきます。

【たぐましい子】

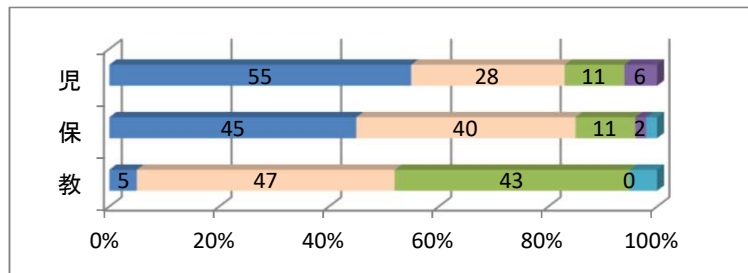
⑩ 学校のきまりを守っている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	50	42	6	2		2
保	59	34	5	1	1	5
教	0	86	14	0	0	-4



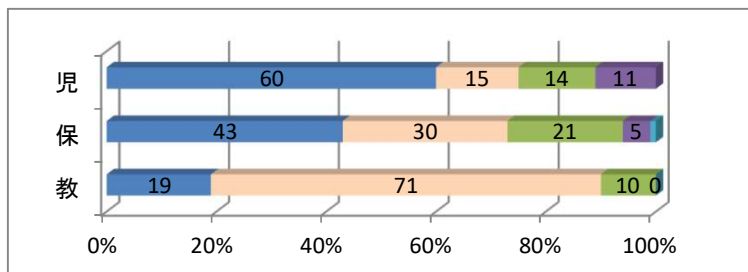
⑪ けがをしないように気を付けている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	55	28	11	6		-5
保	45	40	11	2	2	2
教	5	47	43	0	5	-28



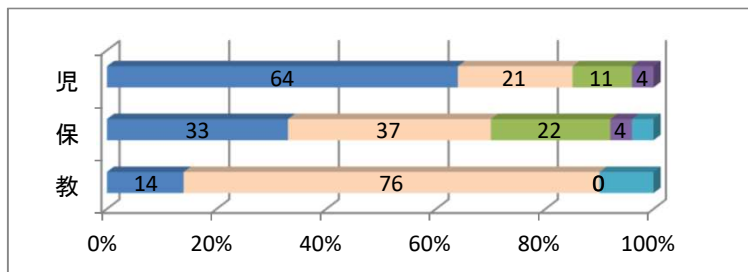
⑫ 外遊びやスポーツをしている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	60	15	14	11		-5
保	43	30	21	5	1	-5
教	19	71	10	0	0	15



⑬ 目標を持って頑張っていることがある。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
児	64	21	11	4		-4
保	33	37	22	4	4	-6
教	14	76	0	0	10	5

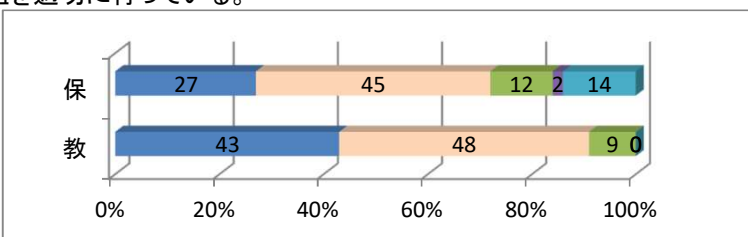


前年度に比べ評価の下がった項目が多く見られました。特に⑫の「外遊びやスポーツ」では、Aが60%と多いものの、Dも11%と多くおり、運動に関しては二極化が進んでいると言えます。また、今年度は校内でのけがが多く発生しており、アンケート結果にも表れています。⑩の「学校のきまりを守る」に関しては、A評価だけを見ると全ての設問のうちこの設問だけが児童を保護者が上回っています。コロナ禍で、保護者の皆様と懇談する機会も多くは設定ができず、学校でのお子さんの様子が十分に伝わっていないことも考えられます。情報の共有をどのように図っていくか、検討を進めたいと思います。

3 いじめ対策について

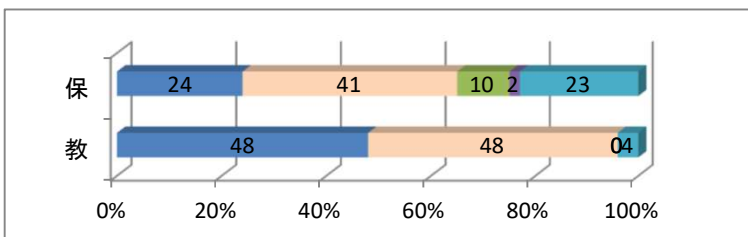
① 学校は、いじめの未然防止に向けた取組を適切に行っている。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
保	27	45	12	2	14	-5
教	43	48	9	0	0	1



② 学校は、いじめが起きたとき、適切に対応している。

	A	B	C	D	E	昨年比A+B (%)
保	24	41	10	2	23	-3
教	48	48	0	0	4	1



いじめ対策については前年度を下回りました。また、わからない・無回答の率も高く、学校での取組を周知する手立てが不十分だったと反省をしています。記述式のアンケートでは「謝罪をさせて終わるのではなく、(互いが納得できるように)しっかり話を聞いてほしい。」という意見や「加害者、被害者それぞれ別に話を聞いてほしい。」という意見がありました。児童が納得できたと感じることができる指導と、安心して話ができる環境を作っていきたいと考えます。